

日本作物学会東北支部会

第 55 回 総会および講演会プログラム

会場:秋田県立大学生物資源科学部
秋田市下新城野字街道端西 241-438
生物環境科学科棟 (学部棟Ⅱ)
会期:平成 24 年 8 月 21 日(火)、22 日 (水)

総会および講演会

平成 24 年 8 月 21 日(火)

一般講演	11:00~12:00	第 1 会場:学部棟Ⅱ一階 E126、第 2 会場:学部棟Ⅱ一階 E125
総会	13:00~15:30	会場:学部棟Ⅱ一階 E126
懇親会	15:40~16:20	懇親会会場:秋田ビューホテル、TEL:018-832-1111
	18:30~20:30	秋田駅西口より徒歩 3 分

参加費:4000 円

評議員会

平成 24 年 8 月 21 日 (火)、9:00~10:45 会場:E106

現地研修

平成 24 年 8 月 22 日 (水)、8:30 秋田駅東口駐車場脇集合、秋田県農業試験場・田沢湖疎水分水工・東北農業研究センター大仙拠点見学、15:40 大曲駅解散、16:40 秋田駅解散

運営委員会からのお願い

1. 講演番号を付した講演資料 (A4 版、100 部) は、平成 24 年 8 月 14 日(火)までに下記運営委員会事務局へお送りください。
2. 講演にはコンピュータをお使いいただけますが、スライドや OHP は使用できません。発表用ファイル (Windows 版 Power Point) を添付ファイルまたは郵送で、8 月 14 日 (火)までに運営委員会事務局へお送りください。
3. 懇親会および現地研修へ参加希望の方で、まだ申し込まれておられない方は、8 月 14 日(火)までに運営委員会事務局へお知らせください。

〈運営委員会事務局〉

〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南 2-2 秋田県立大学大潟キャンパス

アグリビジネス学科・日本作物学会東北支部講演会運営委員会事務局 (作物・雑草学研究室)

担当:永澤信洋 TEL:0185-45-2026 (代) FAX:0185-45-2377

E-mail:O_sakumotsu@akita-pu.ac.jp (最初の文字は英字の大文字のオー、それ以降は小文字)

日本作物学会東北支部会第55回講演会プログラム

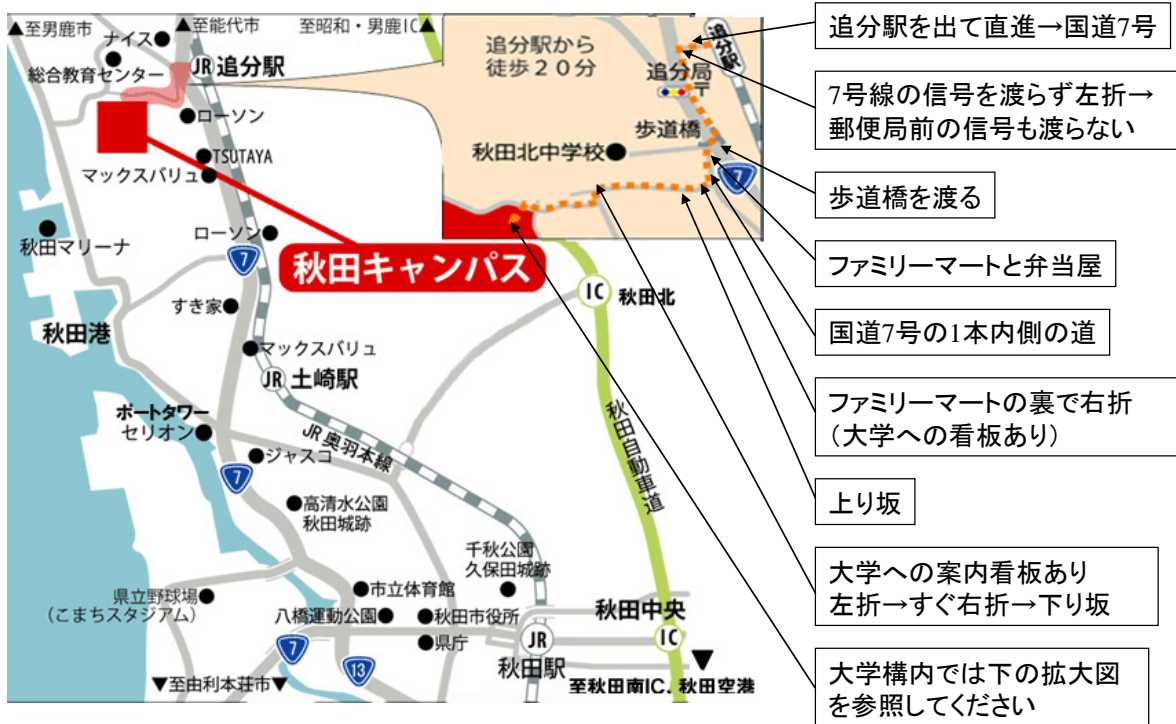
講演時間12分 質疑応答3分

第1会場 (学部棟II、一階 E126)		第2会場 (学部棟II、一階 E125)	
講演番号	演題・発表者・所属	講演番号	演題・発表者・所属
1	飼料用米「べこあおば」に対する疎植栽培の効果 ○土屋一成、西田瑞彦、吉田光二、高橋智紀(東北農業研究センター、 ¹)現ジェイコム(アグリ)株式会社)	15	異なる土壌で栽培した栽培ヒエの玄ヒエ無機成分含量 木内亮輔 ¹ 、西 政佳 ¹ 、渡邊 学 ¹ 、佐川 了 ¹ 、高階史章 ² ・佐藤 孝 ² ・金田吉弘 ² ・○星野次汪 ¹ (¹)岩手大学農学部寒冷フィールドサイエンス教育研究センター、 ²)秋田県立大学生物資源科学部)
2	酒米「出羽雫々」の疎植栽培適応性について ○齋藤博行・伊藤雄太(藤半セキキ東北山形支社)	16	施肥履歴が異なる水田における栽培ヒエの生育 西 政佳 ¹ 、木内亮輔 ¹ 、吉田晴香 ¹ ・佐川 了 ¹ 、高階史章 ² ・佐藤 孝 ² ・金田吉弘 ² ・○星野次汪 ¹ (¹)岩手大学農学部寒冷フィールドサイエンス教育研究センター、 ²)秋田県立大学生物資源科学部)
3	異なる基肥量・栽植密度に対する大粒多収品種「秋田63号」の初期生育反応 ○松波麻耶 ¹ 、松波寿典 ² 、小玉郁子 ² 、佐野広伸 ² 、加藤和直 ² 、佐藤健介 ² 、川本朋彦 ² 、小川敦史 ¹ (¹)秋田県立大学生物資源科学部、 ²)秋田県農業試験場)	17	青森県において栽培されている「毛豆」の形質的特徴に関する研究 ○川崎通夫・イスラム モハンマド ナズレル(弘前大学農学生命科学部)
4	直立型水稲の収量性および生育特性 ○黒田栄喜・宇佐美愛・佐々木信広・下野裕之(岩手大学農学部)	18	エダマ品種の生育特性ならびに子実肥大制御に関する研究 ○藤崎浩・吉田康徳(秋田県立大学生物資源科学部)
お昼休み			
5	低投入条件下における水稲有望系統「秋田107号」の初期生育 ○松波寿典 ¹ 、松波麻耶 ² 、小玉郁子 ² 、佐野広伸 ¹ 、佐藤雄幸 ¹ 、小川敦史 ² (¹)秋田県農業試験場、 ²)秋田県立大学)	19	緑肥ヘアリーベッチと小畦立播種の組み合わせが転換畑大豆の苗立と収量に及ぼす影響 ○金田吉弘 ¹ ・山崎政弘 ² ・高階史章 ¹ ・佐藤孝 ¹ (¹)秋田県立大学、 ²)大潟村)
6	追肥時期の違いが疎植栽培したあきたこまちの収量、品質に及ぼす影響 ○松波寿典 ¹ 、能登屋美咲 ² 、三浦恒子 ¹ 、佐藤雄幸 ¹ 、松波麻耶 ³ (¹)秋田県農業試験場、 ²)元秋田県農業研修センター、 ³)秋田県立大学)	20	雑穀の移植栽培における育苗培土が移植苗の素質と移植後生育に及ぼす影響(第2報)(仮題) 中西尚量(岩手県農業研究センター-東北農業研究所)
7	定点調査「あきたこまち」における良質粒率の年次間差 ○佐藤雄幸・松本真一(秋田県農業試験場)	21	アワ(<i>Setaria italica</i> (L.) P.Beauv)胚乳色の退色 仲條真介(岩手県農業研究センター-東北農業研究所)
8	穂揃期のNSC量の低下が平成22年度の水稲収量に及ぼした影響 ○清藤文仁・木村利行(青森県産米技術センター-農林総合研究所)	22	東北地方におけるソルガム品種の各圃間の伸長時期 ○藤井昭裕 ¹ 、中村聡 ² 、後藤雄佐 ¹ (¹)東北大学大学院農学研究所、 ²)宮城大学食産業学部)
9	岩手県農業研究センターにおける適切な水稲収量を確保するための追肥量の判定 1 適正な水稲生育と収量を確保するための穂揃い期の窒素吸収量 ○高橋 智宏 ¹ 、日影 勝幸 ¹ 、高橋 彩子 ² (¹)岩手県農業研究センター-技術部作物研究室、 ²)岩手県農業研究センター-環境部生産環境研究室)	23	東日本大震災による津波被災農地におけるソルガムの生育 ○中村聡 ¹ 、石森裕貴 ¹ 、斎藤満保 ¹ 、木村和彦(宮城大学食産業学部)
10	岩手県農業研究センターにおける適切な水稲収量を確保するための追肥量の判定 2 穂揃い期の窒素吸収量の推定方法 ○高橋 智宏 ¹ 、日影 勝幸 ¹ 、高橋 彩子 ² (¹)岩手県農業研究センター-技術部作物研究室、 ²)岩手県農業研究センター-環境部生産環境研究室)	24	福島県における農作物等の放射性物質調査について 荒川市郎(福島県農業総合センター-農業短期大学校)
11	岩手県農業研究センターにおける適切な水稲収量を確保するための追肥量の判定 3 7月上旬に追肥窒素量を判定する方法 ○高橋 智宏 ¹ 、日影 勝幸 ¹ 、高橋 彩子 ² (¹)岩手県農業研究センター-技術部作物研究室、 ²)岩手県農業研究センター-環境部生産環境研究室)	25	玄米と稲わら、もみ穀および第5節間における放射性セシウム濃度の相関関係 ○佐藤誠 ¹ 、藤村恵人 ¹ 、藤田智博 ¹ 、鈴木幸雄 ¹ 、佐久間祐樹 ¹ 、大和田正幸 ² (¹)福島県農業総合センター、 ²)相双農林事務所)
12	米養成前期の高水温が寒冷地における水稲2品種の子実収量と乾物生産に及ぼす影響 ○洞井翔・石井純子・黒田栄喜・○下野裕之(岩手大学)	26	イネ籾稈の背節組織におけるATase活性の局在性およびその同化物輸送との関係 中村貞二(東北大学大学院農学研究所)
13	水稲の無効分げつ抑制栽培による白未熟粒軽減技術の開発 ○三浦恒子・進藤勇人(秋田県農業試験場)	27	イネの穂ばらみ期における高度耐冷性に関するQTILの特定とその機能解明 ○下野裕之 ¹ 、佐藤将大 ¹ 、洞井翔 ¹ 、阿部陽 ² 、佐伯研一 ³ 、遠藤貴司 ³ 、永野邦明 ³ (¹)岩手大学、 ²)岩手県農業研究センター、 ³)宮城県古川農業試験場)
14	穂発芽性易の水稲品種は温湯消毒によって発芽能力が低下する ○福島陽・太田久穂・龍亮太・津田直人(東北農業研究センター)	28	閉花性イネ突然変異体の開花期耐冷性 ○小池説夫 ¹ ・大森伸之介 ³ ・山口知哉 ^{1/2} ・林高見 ¹ ・矢頭治 ³ ・吉田均 ¹ (¹)東北農業研究センター、 ²)現・農林水産技術会議事務局、 ³)中央農業総合研究センター-北陸研究センター、 ⁴)作物研究所)

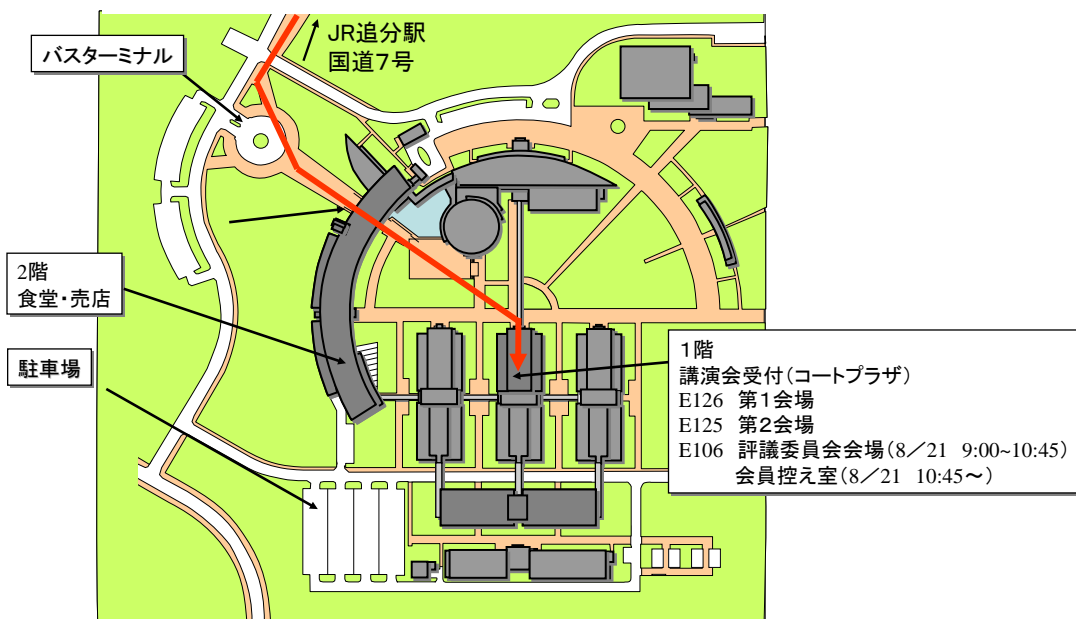
会場案内

秋田県立大学生物資源科学部(秋田キャンパス)は秋田市の北西端、日本海から歩いて10分に位置します。

- ・自動車：秋田北IC又は昭和男鹿半島ICから約10分。
- ・秋田空港：車で約1時間。秋田空港⇄秋田駅間はバスで1時間(900円)
- ・電車：秋田駅より男鹿線または奥羽本線を利用し、追分駅下車。追分駅より徒歩20分(下の地図を参照してください)。



秋田市北西部の略図



秋田県立大学秋田キャンパスの案内図